



主要通貨（メジャー ーカレンシー）取引 インサイト&ストラテジー

主要通貨ペアの取引に役立つガイドブック

目次

はじめに	04
01 通貨取引の基本	05
1.1 FX取引とは何かーFX取引の仕組み	06
1.2 通貨ペア	07
1.3 FX市場への影響要因	09
1.4 FX市場の特徴	10
1.5 FX市場の種類	11
1.6 FX取引の沿革	12
1.7 なぜFX取引なのか?	13
02 通貨取引 実践編	15
2.1 ロングポジションとショートポジション	16
2.2 FX注文の種類	17
2.3 ロット	18
2.4 マージン	18
2.5 ピップス	19
03 メジャーカレンシーペアの取引	20
3.1 EUR/USD (ユーロ／米ドル)	21
3.2 GBP/USD (英ポンド／米ドル)	22
3.3 USD/CHF (米ドル／スイスフラン)	23
3.4 USD/JPY (米ドル／日本円)	24

04	 取引戦略	25
4.1	デイトレーディング	26
4.1.1	スキャルピング	26
4.1.2	トレンド・トレーディング	26
4.2	平均回帰	27
4.3	ニュース・トレーディング	27
4.4	スイング・トレーディング	28
4.5	ポジション・トレーディング	28
4.6	ブレイクアウト・トレーディング	29
4.7	リバーサル・トレーディング	29
4.8	ピボットポイント	30
4.9	レンジ・トレーディング	30
4.10	テクニカル指標	31
4.10.1	MACD (Moving Average Convergence/Divergence:移動平均収束拡散)	31
4.10.2	移動平均	32
4.10.3	相対力指数	33
4.10.4	ストキャスティック・オシレーター	34
4.11	FX分析の種類	35
4.11.1	ファンダメンタル分析	35
4.11.2	テクニカル分析	35
4.11.3	センチメント分析	35
05	 通貨取引10箇条	36
06	 Tickmillでの通貨取引の方	38
07	 なぜTickmillでFX取引を行うのか?	39
08	 用語集	40

はじめに

FX(外国為替証拠金取引)市場では、毎日何兆ドルもの通貨が売買されています。このためFX市場は、おそらく**世界中で最も流動性の高い市場**と言えるでしょう。FX市場は、非常に規模も大きく、複雑なため、初心者にとっては敷居の高いマーケットかもしれません。そんなとき、この電子書籍が役に立ちます。この電子書籍は、**通貨市場の仕組み**を明らかにすることにより、成功するトレーダーが通貨取引に際して利用する**取引戦略や最も人気のある通貨ペア**に焦点を当てながら、FX取引の複雑な部分をすべて紐解いていきます

この電子書籍の何よりも大切な使命は、あなたがFX取引の基礎と賢明な取引方法を学ぶことにより、あなたの投資活動が成功するよう応援することです。

どうぞこのガイドブックから、効果的な通貨取引を行うために必要なすべての情報を入手してください。

The Tickmill リサーチ チーム

The logo for Tickmill, featuring the word "Tickmill" in a stylized, cursive script font.

A man in a dark suit is seen from the back, looking towards a large digital display. The display shows a complex financial interface with a candlestick chart, various numbers, and a US flag. The background features classical architectural columns. A large red diagonal band cuts across the lower half of the image, containing a white circle with the number '01'.

01

FX取引の 基礎

通貨取引の基礎を学びましょう。通貨価値の変動要因は何なのか、なぜFX取引は世界的に人気があるのか、またどのように機能しているのかなど、FXの仕組みについてよく理解しましょう。

FX取引とは何か

ーFX取引の仕組み

FX、すなわち外国為替証拠金取引は、**最も流動性の高い世界最大の市場**で、そこでは通貨が売買されます。

仮にあなたが海外旅行に出かけるとしましょう。あなたは訪問国の通貨を購入することで、外国為替取引を物理的に行うことになります。たとえば、イギリスへ旅行するために、ユーロを売って、ポンドを買う場合、実在する通貨を売買することになります。一方、オンライン上のFX市場の場合、実在する通貨を物理的に売買するわけではありません。オンライン上のFX市場では、**ある通貨が別の通貨に対して値上がりしたり、値下がりしたり**することから発生する**利益**を狙って、通貨価値の変動を売買するのです。



ある通貨を売買する際、あなたは、**その通貨の将来の価格を予測**することになります。たとえば、EUR/USD(ユーロ／米ドル)という通貨ペアの場合を考えてみましょう。ユーロは、**基準通貨(ベースカレンシー)**といって、あなたが買うと選択した通貨のことです。一方、米ドルは、**決済通貨(カウンターカレンシー)**といって、あなたが売ると選択した通貨になります。では仮に、ユーロの価値がドルに対して上昇したとしましょう。そこであなたは、取引を終了して、ユーロを売ることにしました。ユーロの価値の上昇分は、あなたの儲けになります。

FX市場では、**通貨の価値は需要によって決まります**。ポーランドズウォティ、スイスフラン、日本円に対する需要がどれほどあるかによって、これらの通貨の価値がその他通貨の価値に対して相対的に上昇したり、下落したりするのです。



通貨

ペア

FX取引では、常に2つの通貨をペアで取引することになります。通貨ペアは、メジャー、クロス、マイナー、エキゾチックの4つに分類されます。メジャーカレンシー・ペアには通常米ドルが含まれ、最も流動性が高いと考えられています。なかでもEURUSD(ユーロ／米ドル)は最も多く取引されている通貨ペアです。

EURUSD	ユーロ/米ドル	"ファイバー"
GBPUSD	英ポンド/米ドル	"ケーブル"
USDJPY	米ドル/日本円	"ニンジャ"
USDCHF	米ドル/スイスフラン	"スイッシー"
USDCAD	米ドル/カナダドル	"ルーニー"
AUDUSD	豪ドル/米ドル	"オージー"
NZDUSD	ニュージーランドドル/米ドル	"キーウィ"



日々の取引の85%以上がメジャーカレンシーの取引であり、それには米ドル、日本円、ユーロ、英ポンド、スイスフラン、カナダドル、豪ドルが含まれます。

Tickmill では、数十種類の [通貨ペア](#) の取引が可能です。また、インデックスのCFD(差金決済取引)、コモディティ(貴金属など)、債券、仮想通貨取引など、人気の高いその他金融商品の取引も可能です。

各通貨ペアは、「アスク(ask)」価格と「ビッド(bid)」価格で構成される交換レートと共に提示されます。「**アスク価格**」というのは、ブローカーがある通貨ペアを売ろうとする値段であり、「**ビッド価格**」というのは、ブローカーがその通貨ペアを買うために支払う意思のある金額ということになります。アスク価格とビッド価格の差は**スプレッド**と呼ばれます。
あなたは、スプレッドが小さければ小さいほど、各取引においてより多く節約できることになります。



Tickmill はスプレッドなしで提供する場合もあります。



FX市場への 影響要因

通貨の価格は、**金利**、**インフレ率**、**政治的安定性**の変化など、様々な**経済的・政治的要因**によって左右されます。また、マネーサプライをコントロールするための各国**中央銀行**による介入度合いも、通貨ペアの変動に大きな影響を与える場合があります。また、マーケットセンチメント（市場心理）および市場判断といって、特定の通貨の強さをトレーダーがどのように認識しているかということも、市場の変動要因となり得ます。そして、最も忘れてはならない要因は、**ニュースの発表**で、市場の経済的安定性に直接的に影響します

FX市場の 特徴



分散型市場

この世界的な市場のユニークなところは、外国為替取引には中央市場が存在しないということです。すべての取引が、世界中のトレーダー間でつながれたコンピュータネットワークを通じて行われています。



週5日、1日24時間稼働

FX市場は、週5日、1日24時間ご利用になれます。すなわち、**日曜日の 21:00 GMT (グリニッジ標準時) に開場し、金曜日の 21:00 GMT に閉場します。**FX取引の主な中継地は、ニューヨーク、ロンドン、香港、シンガポール、東京、シドニーです。

FX市場には、**主に4つの時間帯(セッション)**があります。それは、**シドニーセッション、東京セッション、ロンドンセッション、ニューヨークセッション**です。その日の取引が米国で終了するときに、新たな取引セッションはオーストラリアで始まります。したがって、FX市場は非常に動きが激しく、相場は常に変動します。



市場参加者

FXの市場参加者には、**銀行**(中規模から大規模銀行まで)、**中央銀行**、**機関投資家**、**個人投資家**、企業、政府、カレンシースペキュレーターなどが含まれます。



流動性

世界中で取引される量が多くなれば多くなるほど、流動性は高まります。トレーダーにとって、流動性は重要です。なぜなら、流動性があるかないかによって、一定期間内にどの程度スムーズに価格が変化するかが決まるからです。



レバレッジ

トレーダーは、**自らの投資を最大化**するため、レバレッジを「借り入れ」の手段として利用します。レバレッジは利益を拡大するという点で有利ですが、**損失を拡大**させる可能性もあります。このため、慎重に利用する必要があります。



アクセスが容易

FX取引は容易に、便利に、しかも、比較的少額から始めることができます。



Tickmill では、わずか100ドルで取引を始められます。



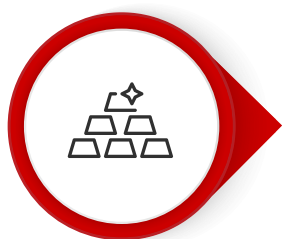
FX市場の 種類

外国為替市場は通常、取引期間に応じて、**現物市場**、**先渡市場**、**先物市場**の3つに分類されます。

現物市場では、通貨は現在価格（スポットレート）で売買されます。通貨の価格は、需要と供給によって決定され、世界経済、現在の金利、社会的・政治的状況や、ある通貨が別の通貨に対して将来どのようなパフォーマンスを示すかということに対する見方など、様々な事象を反映します。

一方、先渡市場や先物市場では、特定の通貨を、将来、一定の価格で、一定の日に清算する権利を証する契約を取り扱います。

FX取引の 沿革



金本位制

FX取引の歴史は、金本位制が導入された19世紀にまで遡ります。この制度の下では、すべての通貨の交換レートは、金に対する価値で評価されていました。



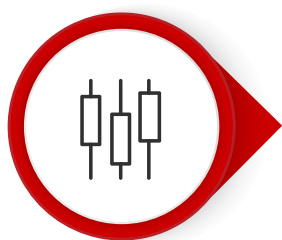
ブレトンウッズ体制

第二次世界大戦後、ブレトンウッズ協定が締結され、米ドルが基軸通貨とされました。



ジャマイカ合意

ブレトンウッズ体制が崩壊した後、1976年のジャマイカ合意に基づき、為替レートは需要と供給によって決定される変動相場制へと移行しました。



現代のFX取引

インターネットの出現と90年代の現代科学技術の発展により、各銀行が、ライブ・プライス・ストリーミングを伴った独自のプラットフォームを作り始めました。これにより、世界中どこにいても、取引を即時執行することが可能となりました。FX取引は、この数十年で世界最大のダイナミックなマーケットへと成長しました。

なぜ

FX取引なのか？

多くのトレーダーが、以下のような様々な理由から、ほかのマーケットではなく、FX市場を選択しています。

01

ボラティリティ

トレーダーはボラティルな（変動の激しい）マーケットを好む傾向にあります。これは、価格変動から生じる利益獲得のチャンスをより多く利用することができるからです。ボラティリティは、短期的投資家にも、長期的投資家にも、よく利用される重要な戦略です。デイトレーダーは、秒単位あるいは分単位で生じる変動を狙いますが、より保守的なトレーダーは、ターゲットとなる金融商品の価格が大きく値上がりするのを待って、長期間に生じるリターンから利益を得ようとしています。価格が変わらなければ、利益も生じません。FX市場のボラティリティは大きいため、常に市場を監視し、都度、戦略を見直す必要があります。

02

機会

レバレッジを利用することで、投資額よりも大きな金額を取引することができます。たとえば、市場があなたにとって有利な方向に動いた場合、あなたの利益は、利用しているレバレッジ量のX倍になります。あなたの利益が投資額の何倍にもなる可能性がある反面、損失も同様に発生する可能性があることに十分留意する必要があります。このため、ポートフォリオの全体のリスクを減らすためには、レバレッジを慎重に利用する必要があります。

03

規制

FX取引は、**投資家保護**を確実にし、金融市場の公明性を維持するために、厳しく規制されています。FXブローカーの多くは複数の裁判管轄権で営業しているため、**複数の監督機関の規制下にあります**。これらの監督機関の中には、取引中の投資会社が倒産した場合に、その顧客に対して損失補償を行う制度を導入しているところもあります。

04

リスク管理は可能です

FX取引には損失のリスクが伴うということは、広く知られています。しかし、マーケットが不利な方向に動いた場合に、リスクをコントロールしたり、最小化したりするための仕組みは備わっています。これらのツールのうちの1つが、ある一定の価格水準に達したら取引を終了するという、**ストップロスオーダー（逆指し値注文）**です。Tickmill では、当社のプラットフォーム上で、このストップロスの機能を提供しています。

05

教材

FXは、最も利用しやすい市場のひとつとして知られています。このため多くの熱心なトレーダーたちは口座（通常はデモアカウント）開設にあたり、知識を強化するためにブローカーが提供しているウェビナー、電子書籍、ビデオ、ブログなどの**教材**を利用しています。

06

プロモーション

FX取引をより魅力的でやりがいのあるものにするために、多くのブローカーは、ライブ取引またはデモ取引コンテストを定期的の実施しています。通常、最高のパフォーマンスを示した参加者には賞金が授与されます。Tickmill で参加可能な**プロモーション**については、こちらをクリックをご覧ください。

07

テクノロジー

FXブローカーは常に**技術革新**を追求し、最新のテクノロジーを導入するよう心がけています。これにより、さらに容易で、便利な、効率的取引を可能にする、ハイエンドなトレーディングソフトウェアやツールの提供が可能となっております。FXテクノロジーは、常に進化しています。最近では、実際に取引を行うことなく、あるいは、価格動向をつぶさに監視することなく、取引を自動化したり、別のトレーダーの取引を自分のアカウントにコピーしたりできるトレーディングロボットを利用する進歩的なトレーダーもいます。



02

通貨取引 実践編

FX市場の仕組みに関して確かな知識を得たところで、通貨取引の具体的内容とそのカギを握るコンセプトおよび実践に移りましょう。

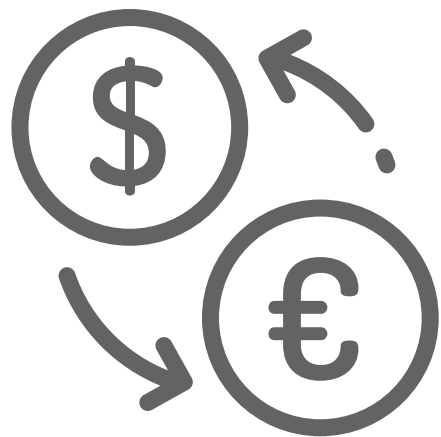


ロングポジションとショートポジション

FXのすべての取引において、トレーダーは、あるポジションをロングにすることもできますし、同時に別のポジションをショートにすることもできます。ある通貨をロングにすることは、その通貨を買うということですが、これは市場価格が上昇すると予測している場合です。一方、ある通貨をショートにすることは、その通貨を売るということですが、これは市場価格が下落すると予想している場合です。

例:

EUR/USD (ユーロ／米ドル) をロングにするということは、ユーロを買って、米ドルを売るということです。



FX注文の 種類

注文とは、簡単に言えば、トレーダーがFX市場に入ったり出たりする方法です。トレーダーが日々利用する注文には多くの種類がありますが、重要なのは、どのような取引を行おうとしているのか、すなわち、マーケットに入る方法やマーケットから出る方法をどうするのかということに応じて、適切な注文方法を選択するということです。

01

マーケットオーダー（成行注文）

マーケットオーダーとは、現在、売り買いが可能な価格で資産を売買するための注文です。トレーダーが、その時点の通貨価格で、今すぐ注文したい場合に利用されます。

02

リミットオーダー（指値注文）

リミットオーダーは、ある一定の条件が整った場合に売買するという注文です。たとえば、この注文方法を利用することで、一定の価格水準に達したら、自動的に注文を執行するという注文を出すことができます。

03

ストップオーダー（逆指値注文）

一定の価格水準に達し、それを突破した場合に、マーケットオーダーに切り替えるという注文方法です。ストップオーダーは、その通貨の現在の市場価値を下回る価格（セルストップオーダー）または高い価格（バイストップオーダー）に設定されます。

04

テイクプロフィットオーダー

テイクプロフィットオーダーは、事前に決めておいた水準で利益を確定しようとする際に利用されます。言い換えれば、一定水準の利益が得られる価格水準に達した際に、ポジションをクローズしたり、取引を行ったりするための注文です。

05

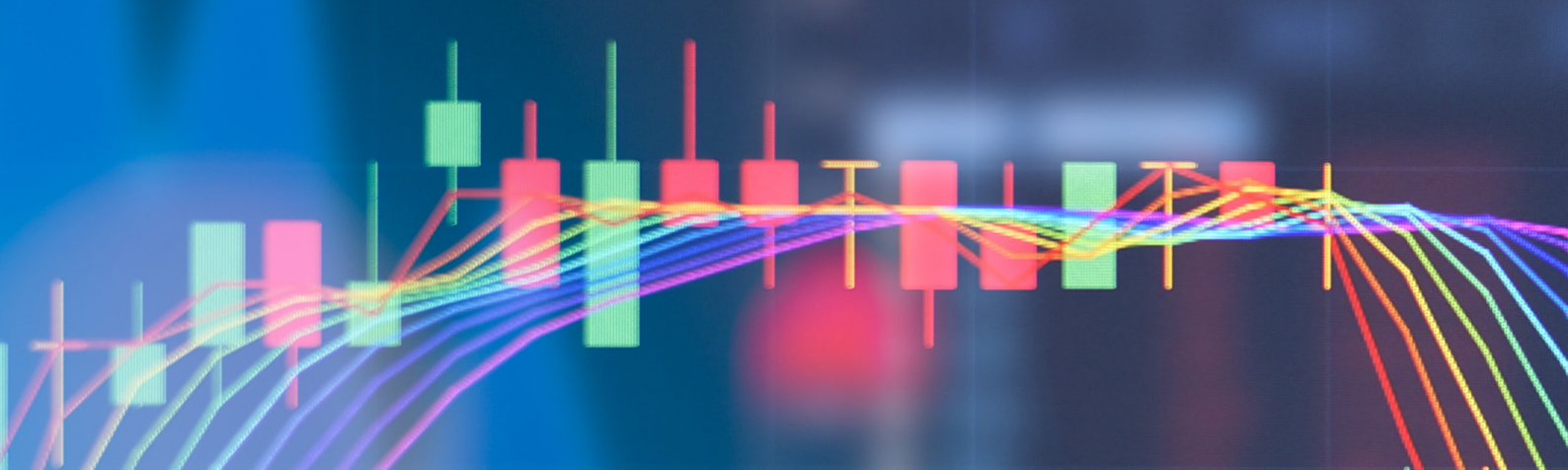
ストップロスオーダー

ストップロス オーダーは、損失を限定するための防衛手段です。ある金融商品の価格が、事前に決めた水準に達した場合に、建玉は自動的にクローズされます。

06

トレイリングストップ

トレイリングストップ オーダーは、ストップオーダーの一種で、マーケット価格から一定比率乖離した価格で設定することができます。



ロット

実際の取引注文において、通貨は**ロット**と呼ばれる一定の単位で取引されます。これらは**スタンダード**、**ミニ**、**マイクロ**、**ナノ** に分類され、それぞれ通貨単位量が異なります。

Lot	単位
ロット	100,000
スタンダード	10,000
ミニ	1,000
マイクロ	100

マージン

マージンは、FX取引の中心的概念ですが、トレーダーはこの概念を誤解または軽視している場合があります。マージンは、投資とは別に確保され、オープンポジションを維持するために預託される、あなたの口座のエクイティです。通常、マージン額は、ポジション合計額の何パーセントというかたちで表示されます。

100:1のレバレッジを使って取引した場合、この口座に必要なマージン額は、最低1%となります。ですから、スタンダードロット(\$100,000)の注文 を100:1のレバレッジを使って注文したい場合、マージンとして最低\$1,000を保有する必要があります。



ピップス

二通貨間における価値の変動は、上昇した場合も、下落した場合も、**ピップス(pips)**でクオートされます。たとえば、AUD／USD(豪ドル／米ドル) が1.6525 から 1.6526に変わった場合、この上昇分は1 ピップ と表現されます。通貨の価値は通常、小数点以下4桁の数字で表され、この4桁目の数字の1が1ピップにあたります。ただし、日本円を含む通貨ペアは、よく小数点以下2桁でクオートされます。

USDCAD 1.5696

ピップ(Pip)



あなたのリスクを正確に把握するために、通貨換算機、マージン、ピップ計算機など、[FX計算機](#) をご利用ください。



03

メジャー カレンシー ペアの

どの通貨ペアにも長所と短所がありますが、メジャーカレンシーペアには、ほかの通貨ペアに比べて、確実なメリットがあります。これは、メジャーカレンシーペアの人気の高さによるものです。

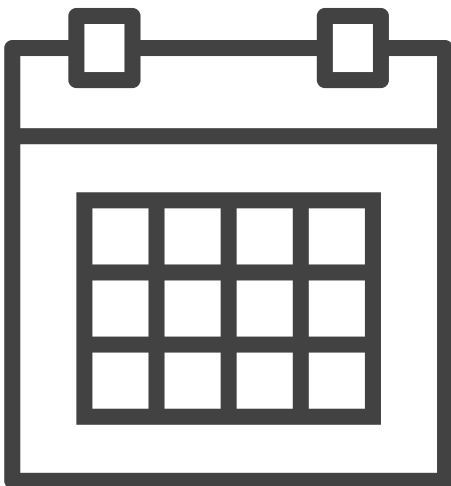
最も人気のある4つの通貨ペアとその主な特徴について見てみましょう。

EUR/USD Euro/US Dollar

EUR/USD (ユーロ／米ドル)

EUR/USD は「ファイバー」の愛称でも知られており、世界的に最も取引されている通貨ペアです。それは、世界で1、2を争う強力な経済大国アメリカとEUの通貨だからです。ユーロは2002年に流通し始めた通貨ですので、この通貨ペアは、すべてのメジャーカレンシーの中で、最も歴史の浅いものです。

主な変動要因は、アメリカの連邦準備銀行 (FRB) と欧州中央銀行 (ECB) であり、なかでも両者が決定する金利は最も影響力の高い要因であると見られています。たとえば、FRBが金利を引き上げれば、米ドルが強くなり、EUR/USDの価格は下落することになります。



注目すべき経済イベント/発表:

- ECB 金利決定
- 欧州PMI (購買担当者景気指数): サービス業、建設業、製造業PMIは、経済全体の方向性を示す優れた指標です。
- 欧州消費者物価指数 (CPI)
- 米国経済データ も、EUR/USD のレートに影響を与えます。これらのデータには、非農業部門雇用指数、消費者物価指数、小売売上高成長率、金利発表、PMIなどが含まれます。

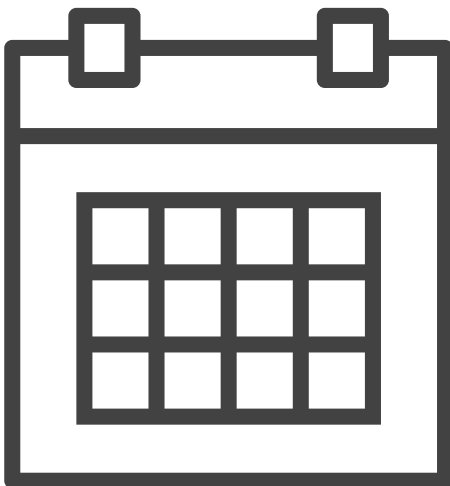
長所: ユーロ／米ドルは最も取引しやすい通貨ペアで、常に高い流動性が期待できます。このため、より競争力のあるスプレッドで、数多くの売買機会に恵まれると言えます。

GBP/USD

GBP/USD (英ポンド／米ドル)

「ケーブル」という愛称で知られるGBP/USDも、最も古くから世界中で活発に取引されてきた通貨ペアです。この愛称は、二国間の通貨レートを送信するために、イギリスとアメリカを結ぶ大西洋に敷設されたケーブルにちなんでつけられました。

主な変動要因は、**イングランド銀行**と**米連邦準備銀行**の方針で、同通貨ペアの動向に大きな影響を与える傾向にあります。



注目すべき経済イベント/発表:

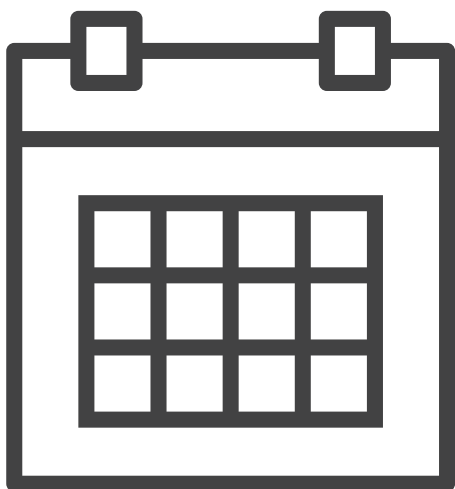
- 英国消費者物価指数
- 国内総生産（対前四半期）
- 英国雇用統計
- 様々なPMI（購買担当者景気指数）：サービス業、製造業、建設業PMIも重要な経済指標です。
- 米国経済データ：金利発表、小売売上高レポート、GDPレポート、PMIおよびCPIデータ。

長所：ポンドは世界で3番目に重要な通貨（1番は米ドル）であり、GBPとUSDの人気も高いことから、GBP/USD 通貨ペアの流動性は非常に高くなっています。GBP/USDの人気の主な理由は、両通貨が世界最古の力強い経済圏に根ざしているという点です。英国も米国も共に世界経済を代表する規模であるため、両国とも経済が比較的安定していると言えます。

USD/CHF (米ドル／スイスフラ)

「スイッシー」と呼ばれるUSD/CHFも、世界のFX市場において最もよく取引される通貨ペアの1つであり、その人気は、貿易および投資における米国、スイス間の親密な関係にあります。

主な変動要因は、スイス中央銀行と米連邦準備銀行の方針および行動です。



注目すべき経済イベント/発表:

- スイス消費者物価指数
- スイス購買担当者指数 (PMI)
- 外貨準備金
- KOF 先行指数(スイス)
- 米国経済データ: 雇用統計、小売売上高、米連邦準備銀行の発表に加え、CPI、MPIの数字

長所: スイスフランは、ボラティリティが低く、安全避難先通貨として有名です。このため同通貨に対する需要は、特に経済の先行きが不透明な場合や市場が混乱している際には、かなり高まります。スイスは、中立的な安定的経済を有します。これは、保守的な経済政策と国内経済の安定性が主な原因です。

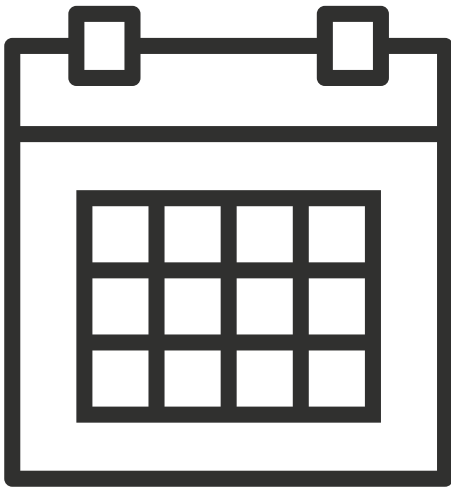
USD / JPY

US Dollar / Japanese Yen

USD/JPY (米ドル／日本円)

「ニンジャ」の愛称を持つ米ドルと日本円のペアは、全世界の1日の取引高の平均17%を占めます。米国と日本は、力強いGDP成長率、活発な輸出入活動の特徴とする、世界的な経済超大国として知られています。

主な変動要因は、全般的に、両国中央銀行のマネーサプライが、USD/JPYの価値に非常に大きな影響力を持ちます。



注目すべき経済イベント/発表:

- 東京都コア消費者物価指数（東京におけるサービスおよび商品価格）
- 日本のGDP（輸出入の差とその他要因の概要）
- 貿易収支（毎月の輸出量と輸入量の差額）
- 米国の経済データ：失業保険申請件数、金利発表、CPI およびPMI データ

長所: 日本銀行は、トレンドを作ったり、逆転させたりするために、為替市場への直接的／間接的な介入をしばしば実施します。これが、トレーダーにとってのチャンスとなります。



04

取引 戦略

FXのトレーダーは、**通貨の売買に最適なタイミング**を見だし、可能な限り利益を最大化するために、様々な戦略や手法を採用します。

この章では、**通貨取引に際して最も人気のある戦略と市場分析の手法**について詳しく見ていきます。様々な取引戦略に対する理解を深めることで、どの取引手法があなたのポートフォリオにとって最適なアプローチなのかを、確かな情報に基づいて決定することができるようになります。

デイトレーディング

デイトレーディングは、簡単に言えば、小幅な値動きから発生する利益に着目して、金融商品の同日内に売買したり、複数回の取引を行ったりする手法です。このような取引には、時間と技術、そして自己管理能力が求められます。このため、マーケットに一日中張り付いていられる人にとっては、理想的な戦略と言えるでしょう。

一般的なデイトレーディング戦略:

スカルピング

スカルピングは、おそらくすべての取引様式の中で最も短期の取引であり、小幅な値動きを利用して、何度も利益を得ることを目論むデイトレーダーの間で最も人気のある取引手法です。この戦略を導入したトレーダーは、1日に数十回から数百回の注文を行う場合があります。

スカルパーは、通常、取引の意思決定を行うために、テクニカル分析 や平均値動きなどのテクニカル指標を利用します。

スカルピングは、わずか数分の間に1日の利益が得られるため、一見簡単に見えますが、スカルパーには、非常に高い自己管理能力が求められます。一切間違いが許されないため、非常に高い自己管理能力と、ためらうことなく意思決定を行う能力が必要となります。

トレンド・トレーディング

トレンド・トレーディングは、上昇／下落に拘わらず、値動きの方向性によってポジションを決定する取引手法です。トレンド取引の考え方は、トレンドが上向きのときはロングポジション(買い)、トレンドが下向きのときはショートポジション(売り)を保有するというものです。

トレンド取引は、長期的戦略にも短期的戦略にもなり得ます。トレーダーは、1日でもそれ以上でも、トレンドが続く限りポジションをオープンにし続けます。したがって、これはデイトレーダーに限った戦略ではありません。

トレンドのあるマーケットを見分けるのは容易なことではありませんが、価格の方向性のパターンを比較的容易に見極めるために注目すべきいくつかの重要な指標があります。これらの指標には、一定の期間内(たとえば200日、50日、20日、10日)における通貨の過去のパフォーマンスを示す移動平均、相対力指数(RSI)、価格の動きのスピードと変化を測定するモメンタムオシレーター、トレンドの強さを判断する平均方向性指数 (ADX)などがあります。

平均 回帰性

平均回帰性取引は、**通貨の価格がヒストリカルミーンに逆戻りしようとしている**ときに用いるアプローチです。平均価格には通常、移動平均を用い、それをチャートに反映することによって評価します。平均回帰性トレーダーは、以前の状況に回帰することを想定して、通貨価格の極端な変動など**異常な動き**に着目し、それを利用します。この戦略は、売りと買いのいずれの場合にも適用可能です。

ニュース トレーディング

ニュース・トレーディング は、投資期間にかかわらず、多くの投資家の戦略において必要不可欠な要素です。デイトレーダーは、1日のうちに何回もニュースを利用して取引を行う場合があるのに対し、その他の投資家は、より長期にわたる投資において必要に応じてニュースを利用するという立場をとります。この戦略名が示す通り、トレーダーは、**ニュースの発表を受けてポジションをロングにし、反転の兆しが現れるまでトレンドに乗り続けます**。

どんな通貨ペアも、経済ニュースの発表前後に急速に変動する可能性があります。すなわち、あなたの取引は、ニュース発表前後のボラティリティの上昇に影響を受けやすくなり、ひいては、**スリッページ**が発生する可能性が高まることになります。



世界の主なイベント、発表、記者会見を見逃さないよう、当社の
経済カレンダー をご利用ください。



スイング トレーディング

このタイプの取引では、価格は上下に変動し、一方向に動くことは決してないということを前提にしています。このため、スイングトレーダーは、通貨価格の変動において、小幅な反転を利用します。この姿勢は、通常、長期的なマーケットトレンドで利ざやを稼ごうとするトレンドトレーダーとは正反対です。スイング取引を行うトレーダーは、パターン、トレンドの方向性、一定のトレンド内における短期的な変動を見極めるために、あらゆるテクニカル指標を利用します。たとえば、フィボナッチ・リトレースメント・パターン、サポートラインおよびレジスタンスライン、MACDクロスオーバーなどです。

ポジション トレーディング

ポジション・トレーディングとは、中期的なトレンドの利用を目論んだもので、比較的長期、**通常は数ヶ月または数年間、ポジションを保有する取引スタイル**のことを言います。ポジショントレーダーは、**長期チャートおよび／またはマクロ経済要因**に大きく依存します。ポジショントレーダーは、強気のトレンドが続く限りポジションを保有するため、価格変動はそれほど気にしないものの、どのようにして取引を開始または終了するかということを予め計画し、適切なリスク管理戦略を導入する必要があります。



ブレイクアウト トレーディング

ブレイクアウトとは、**需要と供給の急な変化により、予め定められたサポート水準およびレジスタンス水準を超えるような通貨価格の変動**を言います。ブレイクアウト・トレーダーは、通貨価格がレジスタンスを上昇突破した場合に取引を開始し、サポート水準を下方突破した場合に取引を終了します。ブレイクアウト取引は、**モメンタム取引の一形態で、一時期取引量が増大した後に生じるブレイクアウトを利用して利益を得ることを目指す**ものです。

リバーサル トレーディング

マーケットリバーサルとは、**上がるか下がるかを問わず、通貨価格の方向性が変わることを**言います。同日中にまたは毎日または毎週、マーケットの方向性は頻繁に変わります。通貨価格の変動は、**予期せず数秒で生じる場合もあれば、数日または数週間かかる場合もあります**。リバーサルトレーダーは、**市場の動きに反応するため、常に警戒態勢にあります**。すなわち、価格が有利な水準にあるときはポジションをオープンにしておき、不利な水準になれば、ポジションをクローズします。市場の反転を予想するにあたり、**通貨の需給、国の金融政策、地政学的事象**などのファンダメンタル要因と、**反転を示す優れた指標であるサポート水準およびレジスタンス水準、ピボットポイント、移動平均、モメンタムオシレーター**などのテクニカル要因の両方を検討します。



ピボット ポイント

このトレーディングシステムでは、直前の取引期間の高値、安値、終値の平均を考慮して、サポートとレジスタンスに挟まれた領域を見極めようとしています。翌日にピボットポイントを上回った場合は、強気トレンドの兆候だと考えられます。ピボットポイントを下回る取引は弱気トレンドの兆候です。

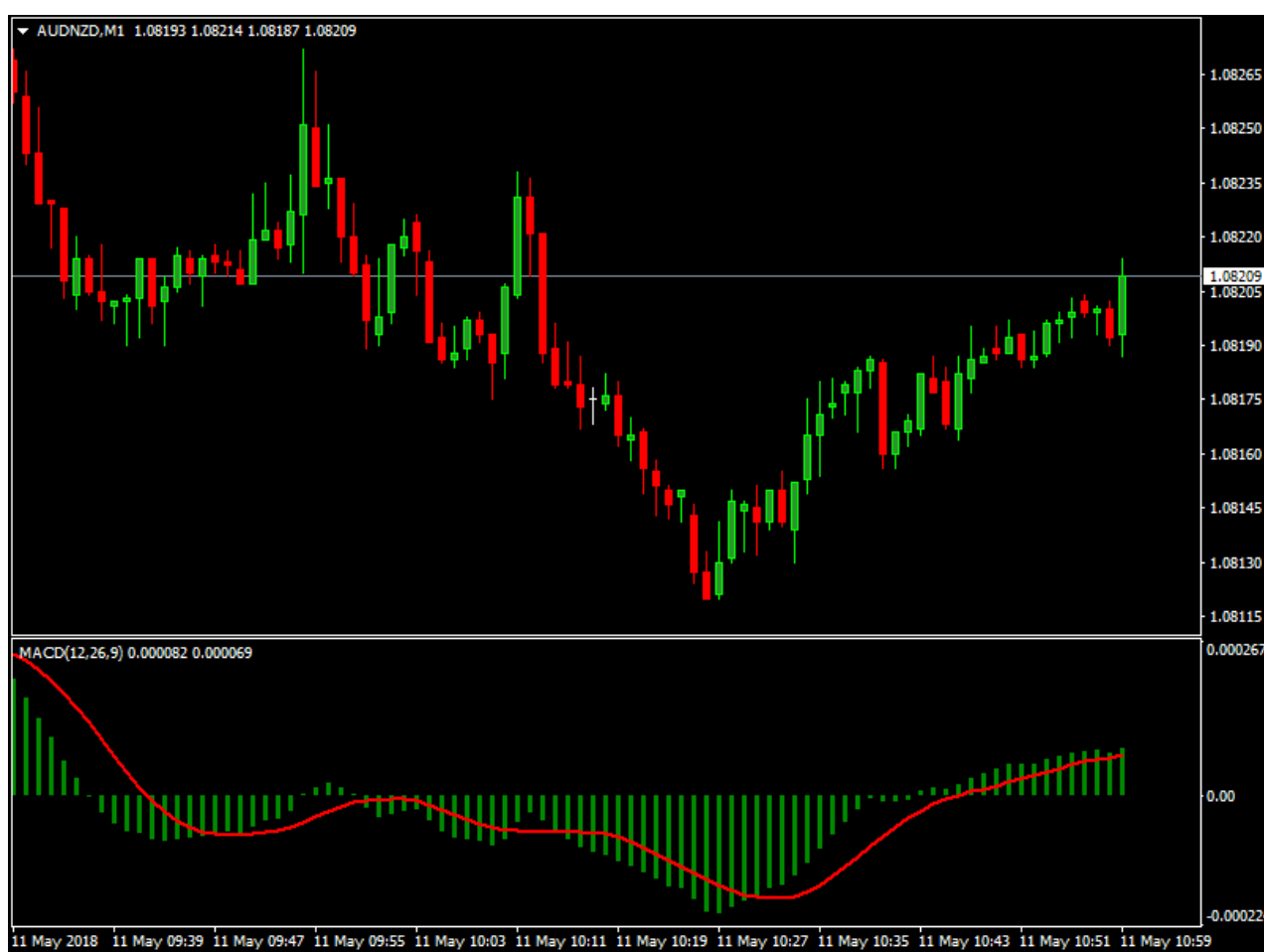
レンジ トレーディング

通常、このトレーディング戦略では、1つ以上の取引セッションにおいて、予想されるレジスタンスとサポートの高値と安値でそれぞれ売買します。すなわち、レンジ戦略は、通貨が上限と下限の間で取引されており、常に高値と安値の間で上下しているように見える場合に利用されます。

テクニカル 指標

MACD (移動平均収束拡散指標:MOVING AVERAGE CONVERGENCE DIVERGENCE)

MACD (移動平均収束拡散) は、トレンドの方向性と今後の反転の可能性を判断するために利用される手法です。MACD は、**ゼロを挟んで上下します**。MACD がゼロを超えていれば、上昇トレンドを示しており、逆に、ゼロを下回っていれば、下降トレンドを示します。前者の場合は買いのシグナルと判断され、後者の場合は売りのシグナルと判断されます。

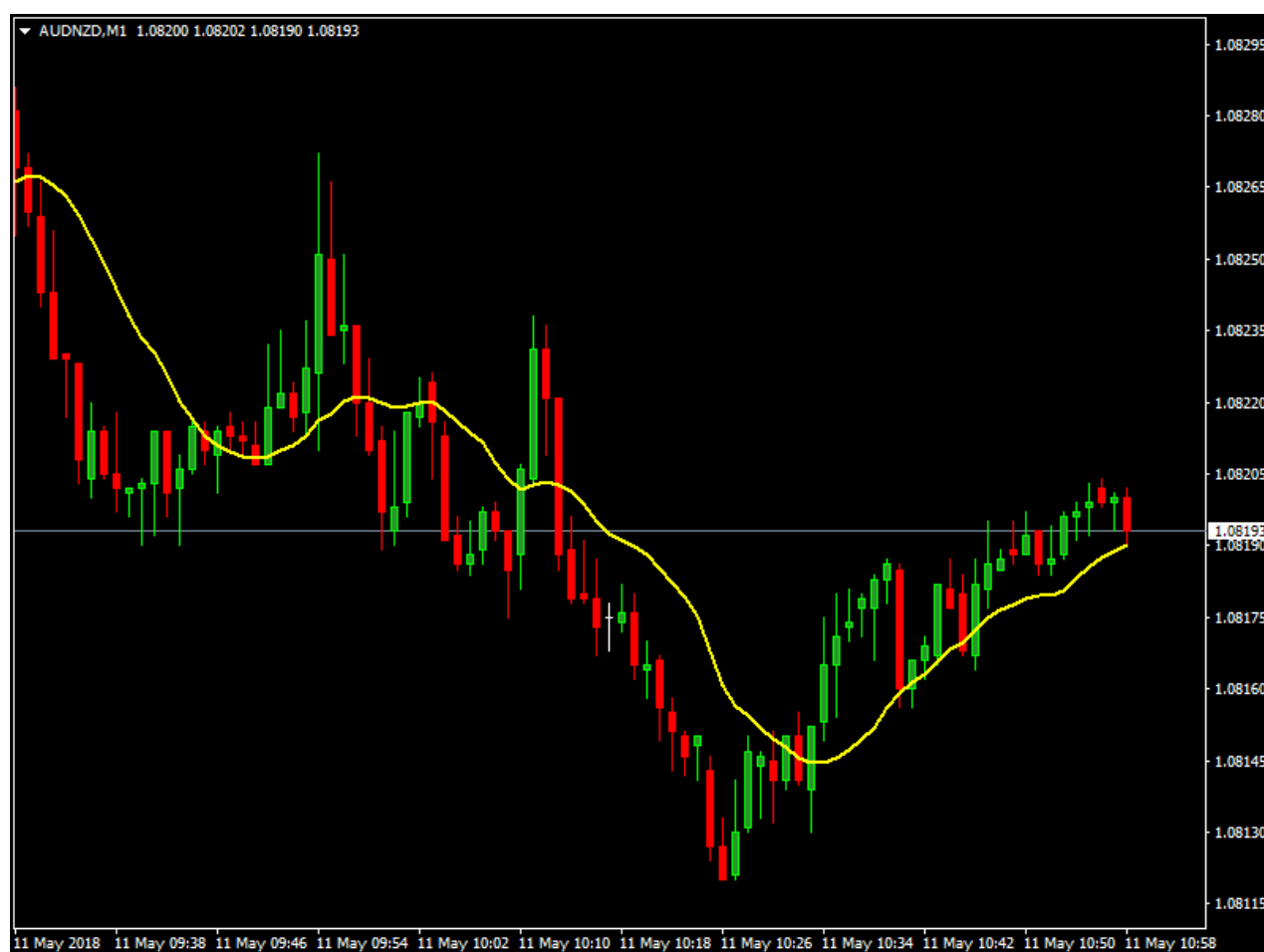


移動平均(MOVING AVERAGE)

移動平均は、一定期間内の平均通貨価格を示す解釈的指標です。この指標は、モメンタムやトレンドを判断し、サポートとレジスタンスの範囲を特定する際に利用されます。移動平均には下記の通り、いくつかの種類があります。

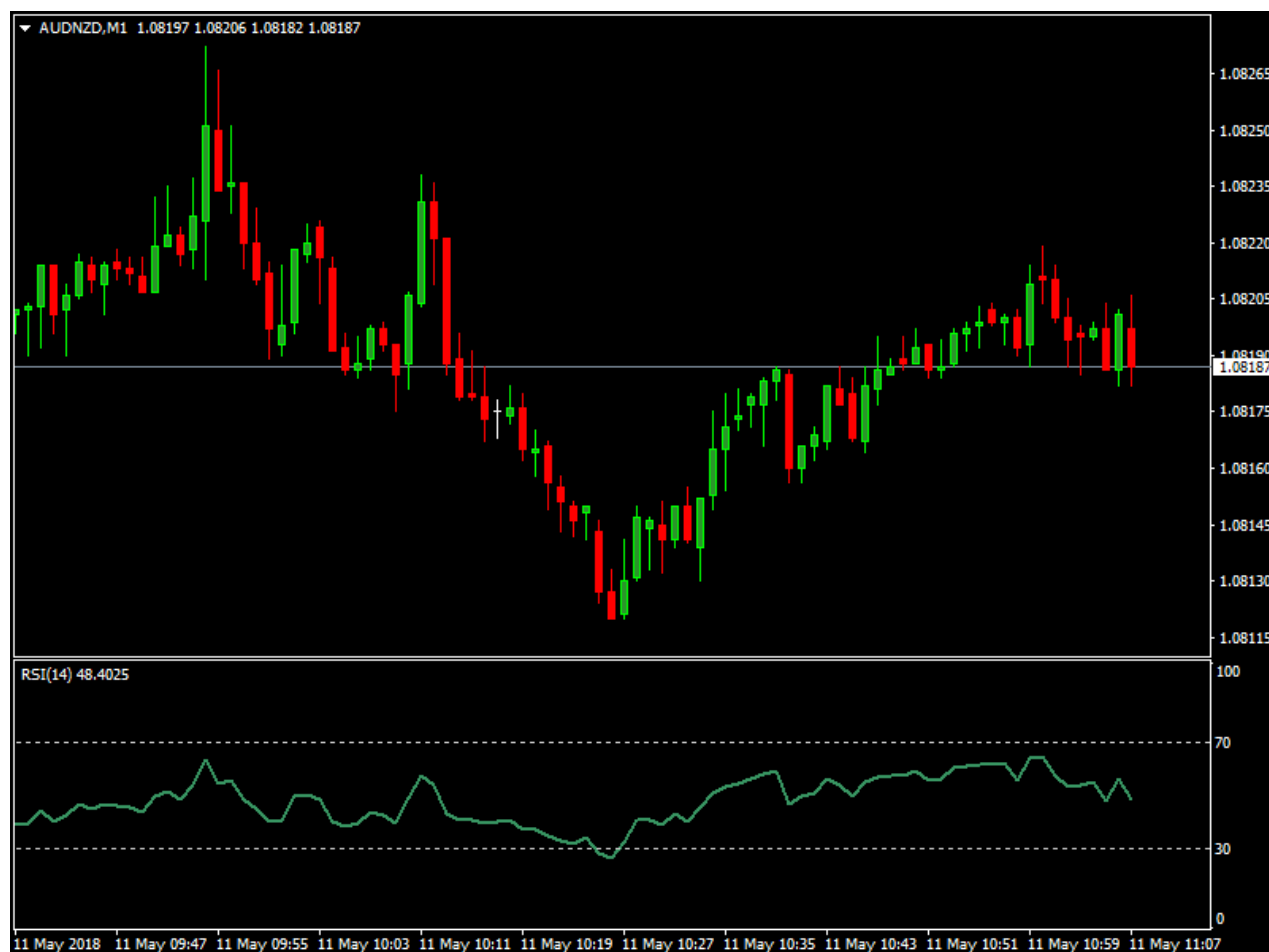
- 単純移動平均(Simple Moving Average:SMA)
- 指数移動平均(Exponential Moving Average:EMA)
- 平滑移動平均(Smoothed Moving Average :SMMA)
- 線形加重移動平均(Linear Weighted Moving Average:LWMA)

価格移動平均を解釈する一般的な方法は、価格動向を比較することです。通貨の価格が移動平均を超えていく場合は買いシグナル、移動平均を下回っていく場合は売りシグナルと判断されます。



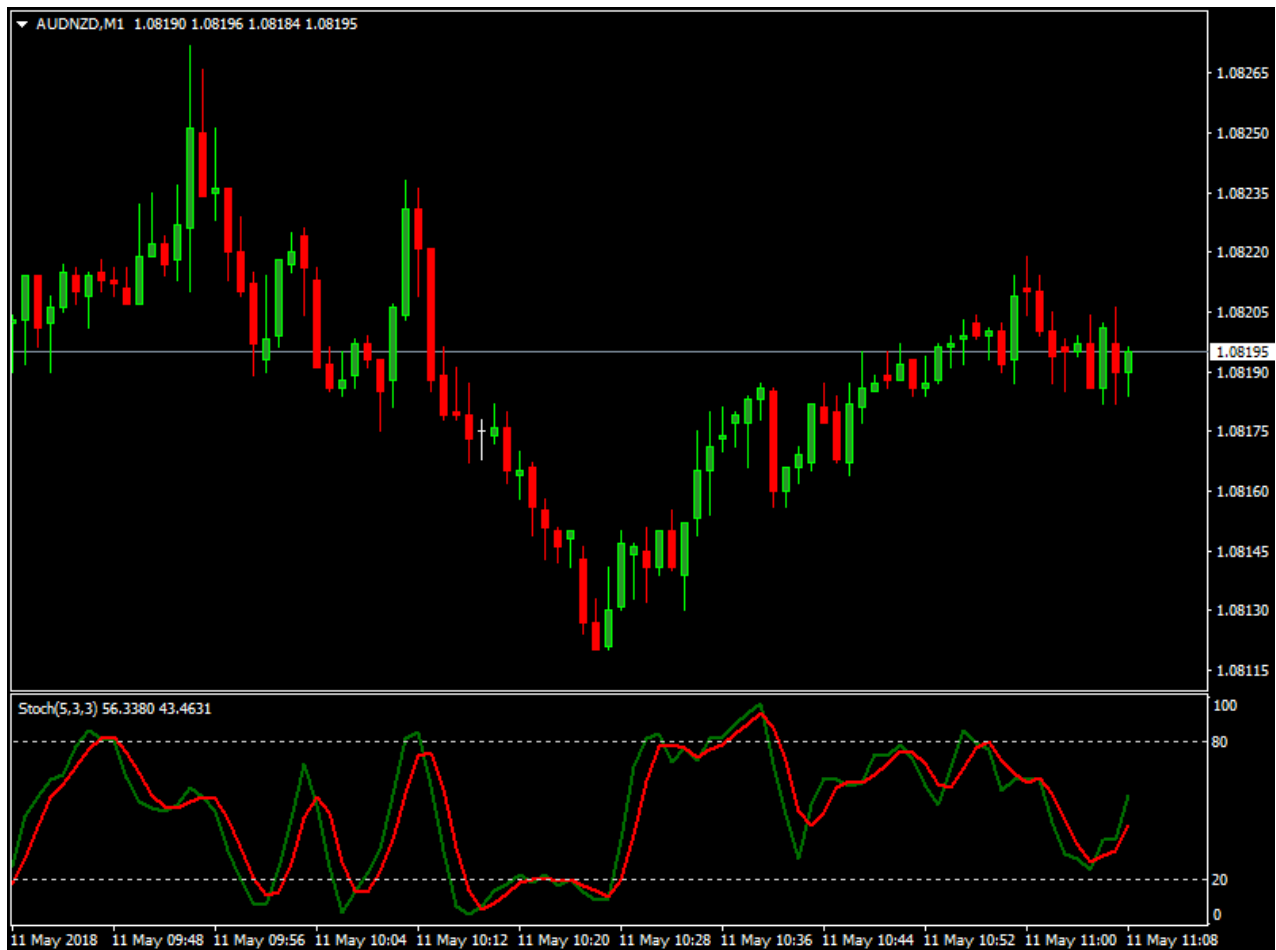
相対力指数 (RELATIVE STRENGTH INDEX)

アメリカのテクニカルアナリストであるJ. ウェルズ・ワイルダー氏によって提唱された**相対力指数 (RSI)** は、一種の**モメンタムオシレーター**で、**現在価格の強さを前の価格と比較して相対的に測定**するものです。RSIは、買われ過ぎか、売られ過ぎかを判断する際に利用される大切なツールです。オシレーターは、**0から100の間**で変動します。通常、RSIが売られ過ぎライン (30) を超えてくれば買い、買われ過ぎライン (70) を下回ってくれば売りと判断されます。



ストキャスティクスオシレーター (STOCHASTIC OSCILLATOR)

ストキャスティクスオシレーターは、ジョージC.レインによって開発された一種のモメンタム指標で、一連の期間（通常14の期間）における**高値安値レンジ**と比較して**終値の水準**を測定するものです。この指標は、**0から100の間**で変動します。ストキャスティクスが80を超える場合は、通貨は買われ過ぎであり（価格が14日のレンジのトップ近くで取引されている）、同指標が20を下回る場合は、売られ過ぎ（価格は14日レンジのボトム近くで取引されている）だと判断されます。



FX分析

の種類

FX市場を分析する手段には、利益の出る取引機会を見つける目的で利用される方法がいくつかあります。それぞれ長所と短所がありますから、市場の全体像をつかんで取引方針を決断する上で、異なる分析手法を組み合わせることは重要です。

ファンダメンタル分析

ファンダメンタル分析では、将来の価格動向を予測するために、現在の社会的、政治的、経済的要因などの経済変数を考慮します。この種の分析を利用するトレーダーは、特にマクロ経済、ミクロ経済の両方のデータ、地政学的事象、金利、インフレ率、失業率、選挙などの様々な変数に注目しています。

テクニカル分析

テクニカルトレーダーは、自らの投資資産価格に影響を与える外部要因に着目するファンダメンタルトレーダーとは異なり、金融市場の価格動向を調べ、予測するために、資産のチャートヒストリーに注目します。すなわち、テクニカルアナリストは、チャートを使うことで、将来の通貨のパフォーマンスを示すパターンとトレンドを見極めようとするのです。

センチメント分析

センチメント分析は、一定時点の市場の全体像を把握するために利用されるFX市場の分析手法のひとつです。人は、心理学的に群衆に従い、無意識に人と同じように行動する傾向があります。センチメントが圧倒的に一定の方向に傾いている場合、大半のトレーダーは、その方向に従う可能性が高いのです。



テクニカル面、ファンダメンタル面における豊富なインサイトを得るために、当社の [ブログ](#) をご利用ください。



通貨取引

10箇条

01

リサーチを怠るな

FX取引は単に野心的な取り組みに思われるかもしれませんが、マーケットの仕組みに関する十分な知識と、FX取引で成功するためのメカニズムに対する正しい理解が必要です。

02

現実的であれ

最初からFX取引には現実的な考えを持ってアプローチすべきです。自らの戦略と経験から、実現可能な勝利確率を割り出す必要があります。

03

取引計画を立てよ

しっかりとした取引計画は、成功するトレーダーのバイブルです。取引計画が、市場で取引するための戦略、オペレーション、手順の概略を示すガイドとなるからです。

04

適切な取引スタイルを選べ

あなたは、スカルパーですか？それともデイトレーダーですか？それともスイングトレーダーですか？FX取引には、様々な取引スタイルがあります。それぞれ異なるタイムフレームを有します。あなたのポートフォリオとパーソナリティに合った取引スタイルを見つけ、それを実行してください。

05

取引のし過ぎには注意せよ

1日中取引しても、分析し過ぎても、決してあなたの期待するような結果が出るとは限りません。あなたのトレードにとってプラスの結果をもたらす事柄を見つけ、時間を浪費するような行動を控えましょう。

06

自分の取引に責任を持て

損失は、自分の責任として受け止めましょう。失敗から学び、今後同じ失敗を繰り返さないようにすることです。自己責任原則は、取引成績を向上させる健全なマインドセットを醸成するためのカギなのです。

07

リスクをマネージせよ

リスクマネジメントの重要性を軽視すべきではありません。あなたのポジションに適切な規模を選択し、損益に上限を設け、リスク選好度に応じて適切なレバレッジを設定してください。何よりも、損失を許容できる範囲で投資を行ってください。市場が突然ネガティブな値動きを示した場合に備えて、利用可能な流動資産を保有するか、適切な取引戦略を持つようにしてください。

08

デイリーチャートにフォーカスせよ

デイリーチャートのタイムフレームで取引することに集中してください。デイリーチャートは、市場を明確に理解する上で、信頼できる材料です。

09

感情をコントロールせよ

FX取引では、感情は抑制する必要があります。自制心を養い、欲、恐れ、期待を効果的にコントロールする必要があります。最も重要なことは、常にポジティブでいることです。

10

あきらめるな

FX取引は、浮き沈みのあるエキサイティングな取り組みです。成功するトレーダーは、常に熱心に取り組み、取引システムに対して忠実で、自信を維持できるだけの粘り強さを有します。

取引方法

TICKMILL で扱う通貨

Tickmill では、62のメジャーカレンシーペアとマイナーカレンシーペアをご提供しております。非常に優れた取引環境で、世界的な市場に参加するチャンスです。

いくつかの単純な手順を踏むだけでFX取引が始められます



自ら学びましょう

FX取引に乗り出す前に、トレーディングの仕組みについてよく理解するようにしましょう。この電子書籍を読むことは、あなたのトレーディング知識を強化するための重要な最初のステップですが、このほかにも[ウェビナー](#)、[ブログポッツ](#)、[ビデオ講義](#)など、有用なリソースが数多く用意されています。



取引口座を開設する

あなたのポートフォリオにぴったりのライブ取引口座を選びましょう。当社の取引口座には、あらゆる投資家のニーズにお応えできるよう、様々な取引環境と選択肢が用意されています。



自分の口座に資金を入金する

当社の便利で安全な支払い方法を使って、入金してください。



取引戦略を策定する

あなたの性格、取引目標、リスク耐性にぴったりの取引戦略を見つけてください。Tickmill なら、ヘッジング、スカルピング、アービトラージなど、あらゆるトレーディング戦略のご利用が可能です。



取引を発注する

お好みの注文種別、ポジションサイズなどを決定して、エントリープロセスを進めてください。



ポジションをクローズする

目標を達成した場合、または単に損切りをしたい場合は、取引をクローズしてください。

なぜ TICKMILLで FX取引を行うのか？

世界で最も流動性の高い市場にアクセス可能

競争力のあるプライシング、豊富な流動性、信頼できる執行など、様々なメリット

- 目に見えない手数料はなし
- 最低スプレッドは0.0 ピップス
- 専門家によるアドバイス
- 平均注文執行速度は0.1秒
- リクオートなし
- 頼りになるクライアントサポート

FXの **契約仕様**の詳細をご覧ください。

投資家の81%がCFD取引で損失を被ります。

用語集

50音順

アスク価格(あすくかかく)

市場側が、外国為替契約、すなわちクロスカレンシー契約において、特定の通貨をその値段なら売ってもいいという価格。トレーダー側は、基準通貨をこの価格で買うことができる。

移動平均(いどうへいきん)

市場の現在のトレンドの強さを判断するために利用される一種のテクニカル指標。過去の価格を合計し、ある一定区間ごとの平均値を、区間をずらしながら求めたもの。

移動平均収束拡散指標(MACD: いどうへいきんしゅうそくかくさんしひょう)

モメンタム、トレンドの方向性、トレンドの期間など、ある証券の全体的トレンドの主たる側面を見極めるためによく利用されるテクニカル指標。

インフレ(いんふれ)

消費者物価を上昇させ、購買力を低下させる経済状況。

FX(えふえっくす、ふおれっくす)

ある通貨を買うと同時に別の通貨を売ること。

エキゾチック通貨ペア(えきぞちっくつうかペア)

エキゾチック通貨ペアとは、新興国通貨、すなわち小さいが強力な国の通貨とメジャー通貨のペアのこと。たとえば、EUR/TRY (ユーロ／トルコリラ)やUSD/ZAR (米ドル／南アフリカランド)は最も人気のあるエキゾチックペアとされている。

基準通貨(きじゅんつうか)

カレンシーペアにおける第一通貨。基準通貨が、第二通貨に対していくらになるのかを示したもの。

クロスカレンシー(くろすかれんしー)

米ドルを含まない通貨ペアのこと。たとえば、EUR/JPY (ユーロ／日本円)やGBP/CHF (英ポンド／スイスフラン)など。

決済通貨(けっさいつうか)

決済通貨とは、通貨ペアにおける参照通貨、すなわち第二通貨として利用される通貨のこと。たとえば、USD/EURという通貨ペアであれば、ユーロ(EUR)が決済通貨となる。

下落(げらく)

市場の力で通貨の価値が低下すること。

現物市場(げんぶつしじょう)

外国通貨およびコモディティが現金と引き替えに、現在価格で売り買いされ、その場で清算され、即座に引き渡される物理的市場。

先物市場(さきものしじょう)

ある商品の将来の受け渡し契約を売買する市場。

先渡市場(さきわたししじょう)

参加者が、コモディティ、証券、外国為替などを、予め定めた将来の特定の日に、一定の価格で売買することに合意する市場のこと。

需要(じゅよう)

ある時点に、ある価格で、人々が買いたいと考えるコモディティや通貨の量。

上昇(じょうしょう)

市場の需要に応じて価格が上昇する場合に、通貨が「上昇する」と言う。

ショートポジション

市場価格が低下した際に利益を得られるような投資ポジションで、通貨ペアのうち基準通貨を売り、「ポジションはショートである」と表現する。

スイング・トレーディング

資産を1日から数日間保有し、価格の変化、すなわち「スイング」から得られる利益を狙った投機的取引戦略。

スカルピング

小幅な値動きから利益を得ることを狙って、すばやくポジションを建てたり、閉じたりする取引戦略。

ストキャスティック・オシレーター

ある資産の終値と一定期間の価格レンジを比較して、将来の市場の方向性を探るためのモメンタム指標。

ストップロス注文

ストップロスは、市場がポジションに対して、一定額、不利な方向に動いた場合に、取引を終了するための注文。

スプレッド

ビッド価格とアスク価格の差。

スリッページ

注文が求める水準と、その注文が執行される際の実際の価格水準との乖離のこと。通常、スリッページは、ボラティリティが高いときや開場や閉場の際に生じやすい。

トレイリングストップ

トレイリング・ストップロス・オーダーは、現在の市場価格を下回る価格でロングポジションを組むために設定された注文をいう。

センチメント分析 (せんちめんとぶんせき)

通貨ペアのパフォーマンスに関して、市場参加者が総体として抱く感情を考慮した市場分析手法。

相対力指数(そうたいりよくしすう)

現在の方向性を示すトレンドが終わりに近づいているのか、買われ過ぎなのか、売られ過ぎなのかを判断するためのテクニカル分析に利用されるチャート指標。

中央銀行(ちゅうおうぎんこう)

その国の金融政策を管理する政府機関または準政府機関。たとえば、米国の中央銀行は連邦準備制度理事会、ドイツの中央銀行はブンデスバンクである。

テイクプロフィットオーダー

テイクプロフィットオーダーは、投資家が、ポジションを建てる前あるいは建てた後に、クロージング価格を設定することができるようにするもの。

デイトレーディング(でいとれーでいんぐ)

トレーディング手法の一種。通貨ポジションを取って、同日中に清算する取引手法。

テクニカル分析

マーケット分析の一種で、マーケットデータ(たとえば、ヒストリカルプライスのトレンドや平均、ボリューム、未決済建玉など)を分析することにより価格を予測する。

店頭取引(てんとうとりひき:OTC)

取引所を通さずに行われるすべての取引。

トレーディングロボット

トレーディングロボットは、一種のコンピュータプログラムで、一連のトレーディングシグナルに基づき、ある通貨をある時点で買うべきか売るべきかをトレーダーが判断するのを支援する。

トレンド・トレーディング

金融市場において、上方であれ、下方であれ、一定の方向性を示すモメンタムにしたがってポジションを取る際に用いられる一種の取引戦略。

成行注文(なりゆきちゅうもん)

成行注文とは、即座に執行するたに、その時点で利用可能な、最も有利な価格で行う売買注文。

ニュース・トレーディング

イベントの前後に生じる可能性のある価格変動から利益を得ることを期待して、重要なニュースの発表やイベントの前後に取引する手法。

ビッド価格(びっどかかく)

ビッドとは、市場側が、外国為替契約、すなわちクロスカレンシー契約において、特定の通貨をその値段なら買えるという価格。トレーダー側は、基準通貨をこの価格で売ることができる。

ピップ

外国為替における通貨価格の最小単位。

ピボットポイント

ピボットポイントとは、直前の期間の高値、安値、終値を使って、現在の期間のサポート水準およびレジスタンス水準を割り出す手法。

ファンダメンタル分析(ふぁんだめんたるぶんせき)

金融市場における将来の動きを予測する目的で、経済的情報および政治的情報を分析すること。

ブレイクアウト・トレーディング(ぶれいくあうと・とれーでいんぐ)

価格が一定の価格レンジ(サポートとレジスタンス)を超えた場合に、注文を執行しようとする取引手法。

平均回帰(へいきんかいき)

通貨価格は、時間を経るにしたがって、平均値に回帰するという仮説に基づく取引戦略。

ポジション・トレーディング

数週間から数ヶ月、あるいは数年間にわたる中長期的な取引手法。

ボラティリティ

資産価格が短期間に大きく変動するような市況。

マイナー通貨ペア(マイナー通貨:まいな-つうか)

マイナー通貨ペアは、クロスカレンシーペアとも呼ばれ、米ドルを除く、世界三大通貨(日本円(JPY)、英ポンド(GBP)、ユーロ(EUR))のうちの少なくとも1つを含む通貨ペアのこと。

マーケットセンチメント

一定の市場に対する投資家の一般的な姿勢。

マージン

ポジションの担保として、投資家が預入しなければならないエクイティ(純資産)のこと。

メジャーカレンシーペア(メジャー通貨)

メジャーカレンシーペアとは、世界で最も活発に取引されている通貨ペアのこと。通常は、米ドル(USD)、ユーロ(EUR)、日本円(JPY)、英ポンド(GBP)、オーストラリアドル(AUD)、スイスフラン(CHF)を含む。

リスクマネジメント

様々なリスクを軽減および／またはコントロールするための金融分析および取引技術の採用。

リバーサル・トレーディング

通貨の価格動向が反転するタイミングを狙って取引する、一種のカウントラートrend手法。

リミットオーダー

支払い額の上限または受取額の下限を設けた注文のこと。たとえば、USD/JPYの現在価格が117.00/05であった場合、米ドル買いのリミットオーダーは117.00円未満になる。

流動性(りゅうどうせい)

価格の安定性への影響が極めて軽微か、全くないかたちで、大量の注文を受け入れることができる市場の能力のこと。

レバレッジ

必要な保証金に対して、取引に使用できる金額の倍率。

レンジ・トレーディング

価格がサポート水準まで下がったら買い、レジスタンス水準まで上がったなら売するという戦略。

ロット

取引額を示す単位。取引額は、常に整数のロット数に対応する。

ロングポジション

市場価格が上昇した場合に、価値が上昇するようなポジション。ある通貨ペアにおける基準通貨が買われる場合、「そのポジションはロングである」という。

高リスク警告： CFDは複合的な商品であり、レバレッジによって急速に資金を失う高いリスクを伴います。Tickmill UK Ltd における81%のリテール投資家は、CFD取引において資金を失っています。CFD取引がどのようなものか理解し、損失のリスクを取ることができるかどうか、熟考して下さい。

免責条項： この電子書籍の内容は、個人的助言および／またはその他の投資アドバイスおよび／または金融取引に関する提案および／または勧誘および／または将来のパフォーマンスに対する保証および／または予測を含むと見なされるべきではない情報およびデータで構成されています。Tickmill、そのアフィリエイト、エージェント、ダイレクター、オフィサーまたは従業員は、この書籍において利用可能な情報またはデータの正確性、有効性、適時性、完全性を一切保証しません。 また、この書籍に含まれたデータまたは情報から生じたいかなる損害に対しても一切責任を負いません。

外国為替、株価指数、商品、債券、仮想通貨。

規制当局公認：金融行為規制機構(英国FCA) | キプロス証券取引委員会(CySEC)
| 金融庁(セーシェル共和国FSA)

世界の拠点：

英国

 1 Fore Street, London EC2Y 9DT, United Kingdom

 +44 (0)20 3608 2100

 support@tickmill.co.uk

キプロス共和国

 Kedron 9, Mesa Geitonia, Limassol 4004, Cyprus

 +357 25247650

 support@tickmill.eu

セーシェル共和国

 3, F28-F29 Eden Plaza, Eden Island, Mahe, Seychelles

 +248 434 7072

 support@tickmill.com